

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/02/02

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.83	0.00
JPY/THB	0.2545	0.0022
USD/JPY	128.98	-1.11
EUR/THB	36.10	0.44
EUR/USD	1.0990	0.0127
USD/CNH	6.720	-0.037
SGD/THB	25.12	0.13
AUD/THB	23.42	0.26
USD/INR	81.94	0.01
USD Index	101.22	-0.88

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.058	-0.025
10Y (THB)	2.492	-0.031
5Y (USD)	3.515	-0.102
10Y (USD)	3.417	-0.090

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,927.8	-1.7
WTI (Oil)	76.41	-2.46
Copper	9,087.0	-135.5

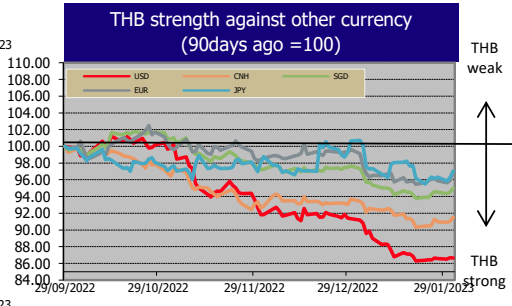
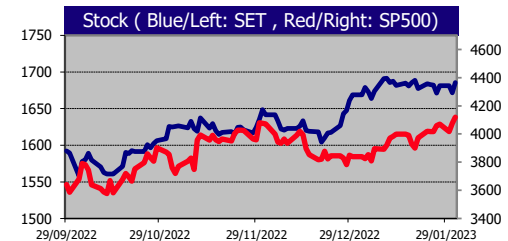
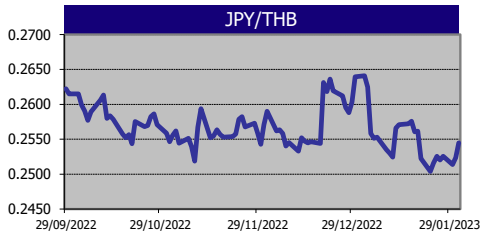
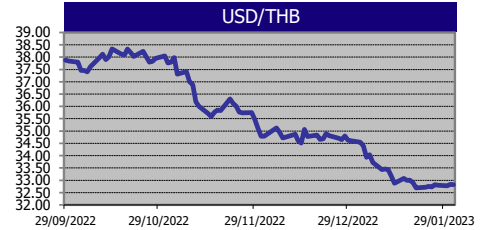
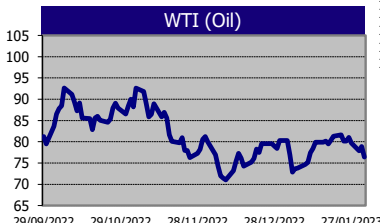
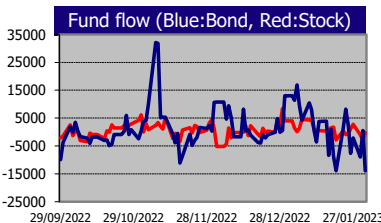
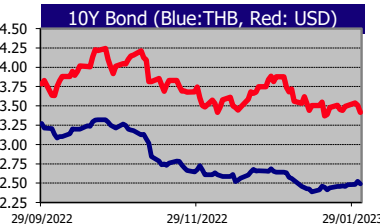
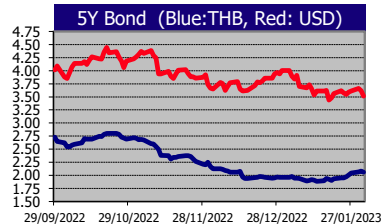
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,685.75	14.29
NIKKEI (JP)	27,346.88	19.77
DOW (US)	34,092.96	6.92
S&P500 (US)	4,119.21	42.61
SHCOMP (CN)	3,284.92	29.25
DAX(GER)	15,180.74	52.47

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(192)	2702.6
Bond net flow	(13,910)	-14410.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツはFOMCの結果を受け、終盤に下落。32パーツ台後半でスタートしたドルパーツは、朝方発表された1月タイ製造業PMIが昨年9月以来の水準まで回復する結果となったものの、FOMCを控える中、大きく水準を変えることなく推移。海外時間に入ると強弱入り混じる米国指標を眺めながらじりじりと上昇。FOMC結果公表を前に33パーツ手前付近を付けた。注目のFOMCでは市場予想通り0.25%の利上げを決定。今後数回の利上げが示唆されたものの、声明文でのインフレやロシアのウクライナ侵攻に係る文言の変更やパウエル議長の会見内容において繰り返し『ディスインフレ』との発言があったことがハト派のサインと捉えられ、金利低下、ドル安で反応。ドルパーツも直前の上昇分を打ち消す格好となり、結局32.83レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。130円台前半でスタートしたドル円は、FOMCを控え方向感なく推移。バンコク時間終盤には130円台半ばまで上昇する場面が見られたものの、その後米金利が軟調な推移を見せると、下落に転じ、FOMC結果公表前には129円台前半を付けた。FOMCの結果が公表されると、ドル円は発表直後こそ上昇する場面が見られるも、声明文やパウエル議長会見の内容を受けて一時128円台半ばまで急落する展開に。終盤にかけてはドル売りも一巡する中、129円ちょうど付近まで反発。結局128.98レベルでクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨晚開催されたFOMCでは、事前予想通り25bpの利上げが行われ政策金利は4.50-4.75%になりました。今回の注目点は、足元のインフレブレイクアウトを受けて、FRBの今後の利上げ姿勢に変化があるかどうかでしたが、結論としてはややハト派よりの結果となりました。

具体的には、まずFOMC声明文においては、一部で修正が予想されていた、今後の継続的な利上げを示唆する文言(ongoing increases in the target range will be appropriate)がそのまま残った一方(タカ派)、パウエル議長による記者会見では、『ディスインフレのプロセスが始まった』、『過度に引き締めを行うインセンティブはない』との発言がありました(ハト派)。総合すると、FRBは前回12月会合時点で示されたFOMCメンバーによる見通しの通り、あと2回、5.25%までの利上げを想定している一方、それ以上の利上げを実施する確率は低くなったと言えます。ただしパウエル議長は、『今年の利下げは想定せず』とも発言しており(タカ派)、市場が織り込んでいる今年中の利下げは現時点では明確に否定されました。

為替相場はドル安継続を予想しますが、米政策金利見通しについて引き続き市場予想とFRB見通しにギャップがあるため、あまり深追いはしない方が良さそうです。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.